

大和市教育委員会 9 月定例会

日 時 令和4年9月29日

午前10時00分

場 所 教育委員会室

1 開 会

2 会議時間の決定

3 会議録署名委員の決定

4 教育長の報告

5 議 事

日程第1（議案第22号） 令和5年度大和市公立学校県費負担教職員人事異動方針
について

日程第2（議案第23号） 「大和市教育委員会が所掌する事項に係る補助金交付事
業に関する要綱」の一部を改正する要綱について

日程第3（報告第4号） 大和市教育委員会職員の人事について

6 そ の 他

7 閉 会

議案第22号

令和4年度大和市公立学校県費負担教職員人事異動方針について

令和4年度大和市公立学校県費負担教職員人事異動方針について、審議願いたく提案する。

令和4年9月29日提出

大和市教育委員会

教育長 柿本隆夫

令和5年度大和市公立学校県費負担教職員人事異動方針

大和市教育委員会

大和市教育委員会は、学校の組織としての能力を高めるとともに、教職員の意欲と専門性の向上を図るため、また、教職員の世代交代が円滑に進むよう、人事異動にあたっては、次の事項を基本方針とし、関係機関の協力のもとに教職員の適正な配置に努めるものとする。

【基本方針】

1. 組織力の向上を図る。

本市教育の活性化を図り、多様な教育課題に対応し、教育効果を高めるため、積極的に転任及び配置換えを行い、教職員組織の充実と均衡化に努め、魅力ある学校づくりの推進と学校の組織力の向上を図る。

2. 人材育成を推進する。

世代交代が進み、教職員の年齢構成等が変わりつつある中、全市的な視野に立った人事異動により、一人ひとりの教職員が多様な経験を積み、組織内での自らの役割を意識し、意欲的に力を発揮できるよう、人材育成を推進する。

令和4年度教職員人事概要

◎ 令和4年5月1日現在の教職員数（定数）

小学校：726人
中学校：380人 計 1,106人

1. 総括教諭・教諭の男女・年齢別【正規職員のみ（産休・育休者含む）】（令和4年5月1日現在）

年齢	30歳以下	31～40歳	41～50歳	51～60歳	計	男女の比率	
小学校	男	59	106	51	4	220	38.0%
	女	101	158	71	29	359	62.0%
	計	160	264	122	33	579	100.0%
	率	27.6%	45.6%	21.1%	5.7%	100.0%	—
中学校	男	36	64	31	8	139	55.4%
	女	33	42	17	20	112	44.6%
	計	69	106	48	28	251	100.0%
	率	27.5%	42.2%	19.1%	11.2%	100.0%	—

※再任用は含まない。

2. 同一校多年勤務者数（総括教諭・教諭）（令和5年3月31日見込）

	10年以上	9年	8年	計	割合
小学校	5	9	37	51人	8.8%
中学校	5	4	20	29人	11.6%

3. 令和3年度末異動状況（教職員）

		小学校	中学校	計
辞職		21	16	37
転出	県内	5	2	8
	県外	1	0	
管理職異動		11	6	17
市内配置換		65	19	84
転入		9	5	14
新採用	男	13	5	36
	女	10	8	
計		135	61	196

4. 新採用教職員数の推移（教諭、養護教諭、事務職員、栄養職員を含む）

年度	24	25	26	27	28	29	30	R1	2	3	4
小学校	40	48	44	29	30	36	37	40	36	38	23
中学校	14	19	18	13	13	15	22	19	16	17	13
計	54	67	62	42	43	51	59	59	52	55	36

5. 再任用教職員数の推移

年 度		2 4	2 5	2 6	2 7	2 8	2 9	3 0	R 1	2	3	4
小 学 校	教 諭	3 8	4 0	4 2	3 3	2 8	2 5	2 2	2 4	2 3	2 1	1 7
	養護教諭	0	0	0	0	0	2	2	0	0	2	2
	栄養職員	0	0	0	0	0	0	2	0	0	0	0
	事務職員	0	0	3	4	6	4	3	2	2	1	1
中 学 校	教 諭	2 4	2 8	2 5	2 0	2 3	2 0	1 7	2 2	2 6	3 1	3 0
	養護教諭	0	0	0	0	0	0	0	1	2	2	1
	栄養職員	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	事務職員	0	0	0	0	1	1	1	2	1	0	0
合 計		6 2	6 9	7 0	5 7	5 8	5 2	4 7	5 1	5 4	5 7	5 1

6. 児童・生徒・教職員数等の推移

(各年度 5月1日現在)

年 度	小 学 校				中 学 校			
	学校数 (校)	児童数 (人)	学級数 (c)	教職員 数 (人)	学校数 (校)	生徒数 (人)	学級数 (c)	教職員 数 (人)
2 4	1 9	11,582	422	650	9	5,756	179	362
2 5	1 9	11,534	422	650	9	5,733	184	373
2 6	1 9	11,504	424	658	9	5,587	177	365
2 7	1 9	11,628	435	659	9	5,517	175	360
2 8	1 9	11,618	434	663	9	5,467	174	356
2 9	1 9	11,729	440	664	9	5,432	175	363
3 0	1 9	11,880	445	678	9	5,305	176	359
1	1 9	11,799	446	695	9	5,338	177	365
2	1 9	11,926	458	708	9	5,359	183	369
3	1 9	11,777	459	719	9	5,571	188	376
4	1 9	11,797	466	726	9	5,600	190	380

7. 令和4年度学年別児童・生徒数

(令和4年5月1日現在)

	1年	2年	3年	4年	5年	6年	特別支援	計
小学校	1,890	1,838	1,909	1,822	1,865	1,933	540	11,797
中学校	1,772	1,895	1,753				190	5,600

議案第23号

大和市教育委員会が所掌する事項に係る補助金交付事業に関する要綱等の一部を改正する要綱について

大和市教育委員会が所掌する事項に係る補助金交付事業に関する要綱等の一部を改正する要綱について、審議願いたく提案する。

令和4年9月29日提出

大和市教育委員会

教育長 柿本 隆夫

大和市教育委員会告示第 号

大和市教育委員会が所掌する事項に係る補助金交付等事業に関する要綱の一部を改正する要綱

大和市教育委員会が所掌する事項に係る補助金交付等事業に関する要綱（平成20年大和市教育委員会告示第5号）の一部を次のように改正する。

第3条第2項中「第22条第5号」を「第22条第6号」に改める。

附則を附則第1項とし、同項に見出しとして「（施行期日）」を付し、附則に次の1項を加える。

（令和4年における物価高騰対策に関する特例措置）

2 別表の規定にかかわらず、令和4年10月1日から令和5年3月31日までの間、同表中

大和市第3子以降学校給食費補助金交付事業	大和市立小学校又は中学校及び公立の特別支援学校の小学部又は中学部に在籍する児童生徒を3人以上養育する保護者の学校給食に係る経済的負担を軽減し、少子化対策の充実を図ることを目的とする。	とあるのは、
大和市第3子以降学校給食費補助金交付事業	大和市立小学校又は中学校及び公立の特別支援学校の小学部又は中学部に在籍する児童生徒を3人以上養育する保護者の学校給食に係る経済的負担を軽減し、少子化対策の充実を図ることを目的とする。	とする。
大和市学校給食食材料費補助金交付事業	大和市立の小中学校に対し、令和4年度における物価高騰の影響を受けた学校給食に係る食材料費の一部を補助することにより、安定した学校給食の提供を図ることを目的とする。	

附 則

（施行期日）

1 この要綱は、公表の日から施行する。

（経過措置）

2 令和5年3月31日までに交付した改正後の大和市教育委員会が所掌する事項に係る補助金交付等事業に関する要綱別表に掲げる大和市学校給食食材料費補助金に係る大和市補助金交付規則（昭和42年大和市規則第21号）に基づく返還については、同日後もなお従前の例による。

大和市教育委員会が所掌する事項に係る補助金交付等事業に関する要綱新旧対照表

(下線部分は、改正部分)

改正案	現行
<p>(補助金の交付等)</p> <p>第3条 略</p> <p>2 前項に規定するもののほか、補助金交付等事業に必要な予算執行等、地方教育行政の組織及び運営に関する法律（昭和31年法律第162号）<u>第22条第6号</u>に定める大和市長の権限に属する事務に関して必要な事項は、別に定める。</p> <p>附 則</p> <p><u>(施行期日)</u></p> <p><u>1</u> この要綱は、平成20年4月1日から施行する。</p>	<p>(補助金の交付等)</p> <p>第3条 略</p> <p>2 前項に規定するもののほか、補助金交付等事業に必要な予算執行等、地方教育行政の組織及び運営に関する法律（昭和31年法律第162号）<u>第22条第5号</u>に定める大和市長の権限に属する事務に関して必要な事項は、別に定める。</p> <p>附 則</p> <p>この要綱は、平成20年4月1日から施行する。</p>

(令和4年における物価高騰対策に関する特例措置)

2 別表の規定にかかわらず、令和4年10月1日から令和5年3月31日

までの間、同表中

<u>大和市第3子以降学校給食費補助金交付事業</u>	<u>大和市立小学校又は中学校及び公立の特別支援学校の小学部又は中学部に在籍する児童生徒を3人以上養育する保護者の学校給食に係る経済的負担を軽減し、少子化対策の充実を図ることを目的とする。</u>
-----------------------------	--

とあるのは、

<u>大和市第3子以降学校給食費補助金交付事業</u>	<u>大和市立小学校又は中学校及び公立の特別支援学校の小学部又は中学部に在籍する児童生徒を3人以上養育する保護者の学校給食に係る経済的負担を軽減し、少子化対策の充実を図ることを目的とする。</u>
<u>大和市学校給食食材料費補助金交付事業</u>	<u>大和市立の小中学校に対し、令和4年における物価高騰の影響を受けた学校給食に係る食材料費の一部を補助することにより、安定した学校給食の提供を図ることを目的とする。</u>

とする。

報告第4号

大和市教育委員会職員の人事について

大和市教育委員会教育長に対する事務委任等に関する規則（昭和40年大和市教育委員会規則第1号）第2条第2項の規定により、別紙のとおり教育長が事務を臨時に代理したので、同条第3項の規定により承認を求める。

令和4年9月29日提出

大和市教育委員会

教育長 柿本 隆夫

大和市学校教育基本計画に基づく 令和3年度学校評価アンケート

その他報告

令和4年9月29日

基本目標		施策の方向	具体的な内容例	評価	小	中	指導室 分析
基本目標 1	子ども一人ひとりの学びを保障し、確かな学力を育てます	1 基礎的・基本的な知識及び技能の習得と活用を重視した教育を推進します	・少人数学級、少人数(TT)指導 ・SA、学習支援ボランティアの活用 ・授業改善	A・・・ B・・・ C・・・ D・・・	4 15 0 0	6 3 0 0	大和市学習理解度調査の結果を分析し、授業改善に生かすことができた学校もあったようである。少人数指導、SAの活用等を行い、基礎的・基本的な知識、技能の習得を図る他、休み時間、放課後に個別指導を行ったり、長期休業中に学習会を開いている学校があった。一人一台端末を活用した授業改善を進めている学校が見られた。
		2 「主体的・対話的で深い学び」の視点から学習過程を改善し、質の高い学びを実現する取り組みを推進します	・指導と評価の一体化 ・校内研究 ・ICT機器の活用 ・調べる学習(探究的活動) ・学習における新聞の活用	A・・・ B・・・ C・・・ D・・・	6 13 0 0	4 5 0 0	小学校では令和2年度から、中学校では令和3年度から新学習指導要領での指導が開始され、各校では、校内研究等を中心に「主体的・対話的で深い学び」の視点で授業改善が進められている。一人一台端末を活用した授業も広く行われているが、さらに質の高い実践ができるよう、教育研究所と連携し、支援を進めていきたい。
		3 学習に対して困難をかかえる子どもに適した教育を推進します	・外国人児童生徒に対する支援 ・(特別)支援教育 ・児童支援中核教諭 ・SC、SSW、相談員	A・・・ B・・・ C・・・ D・・・	8 11 0 0	7 2 0 0	学校では、SC、相談員等と連携して支援を必要とする児童生徒の個々の状況を把握し、場合によっては外部機関とも連携しながら適切な対応を行うほか、支援を必要とする児童生徒の校内情報共有もできているようである。組織的対応の好事例を共有する機会を設け、各校の指導・対応の向上を図りたい。
		4 今日的な教育課題に対応した授業に向けて研究・研修を深めます	・校内研修 ・プログラミング教育	A・・・ B・・・ C・・・ D・・・	8 11 0 0	3 6 0 0	引き続き教員が集合しての研修や研究の実施が難しい状況ではあったが、各校において学習指導要領、GIGAスクール構想、防災教育、健康教育等の今日的課題の研修・研究に取り組んでいる。ICT支援員と連携したプログラミング教育の推進を図っている学校もあり、教育研究所と連携して支援を進めていきたい。
		5 学びを支える教育環境整備を進めます	・教材、教具の工夫(ICT機器含む) ・校務支援システムの活用	A・・・ B・・・ C・・・ D・・・	8 11 0 0	5 4 0 0	一人一台端末の活用が進み、家庭への持ち帰りや、授業等の配信も行われている。学校行事についても、ICT機器を使って工夫して集会活動を実践している学校が見られた。今後ICT機器を活用した授業について、好事例の情報共有を進めていきたい。

※各学校の自己評価 A:達成できた、B:おおむね達成できた、C:達成に及ばなかった、D:課題がある

基本目標		施策の方向	具体的な内容例	評価	小	中	指導室 分析
基本目標 2	様々な体験を通し、豊かな感性を育みます	1 想像力を豊かにする読書活動を推進します	<ul style="list-style-type: none"> ・読書活動 ・朝読書、読み聞かせ ・学校図書館の活用 ・図書館教育の推進 	A・・・ B・・・ C・・・ D・・・	4 14 1 0	3 6 0 0	学校司書と連携した図書館に足を運びたくなるような工夫、授業中における学校図書館の活用ができていた。毎日の朝読書活動により、読書に親しむことを一日の始まりとする朝読書活動を設定するなど、読書の推進を図っていた。コロナ禍の制限があるが、司書教諭・学校司書を中心に学校の工夫を支援を継続したい。
	2 感受性を育て、表現する力を養う教育を推進します	<ul style="list-style-type: none"> ・芸術鑑賞 ・福祉体験 ・日本の伝統文化に触れる授業 ・給食時間を活用したコミュニケーション 	A・・・ B・・・ C・・・ D・・・	4 13 2 0	1 8 0 0	芸術鑑賞や福祉体験で人数を分散させたり、講師の数を変更したり、工夫して実施した学校があった。今後も芸術鑑賞、福祉体験のための補助を継続していきたい。対話による美術鑑賞を行い、対話により考えを深める児童の様子が見られた。感染予防のため、給食時間のコミュニケーションは難しい状況であった。	
	3 様々な体験学習の機会を提供します	<ul style="list-style-type: none"> ・体験活動 ・キャリア教育 ・職場体験、職業講話等 ・自然体験学習 	A・・・ B・・・ C・・・ D・・・	4 13 2 0	2 7 0 0	コロナ下でありながら、社会見学、体験活動等様々な活動が実施方法を工夫して子どもたちに体験機会を確保し、取り組めたところもあったようである。引き続き子どもたちに必要な体験学習の機会を提供できるよう、支援していきたい。	

※各学校の自己評価

A:達成できた、B:おおむね達成できた、C:達成に及ばなかった、D:課題がある

基本目標		施策の方向	具体的な内容例	評価	小	中	指導室 分析
基本目標 3	安心安全な環境を整え、健康な心身を育てます	1 心身ともに健康に生活を送るための、健康教育を推進します	<ul style="list-style-type: none"> ・健康の保持増進 ・体力、運動能力の向上 ・教員が子どもと向き合う活動 ・教育相談 	A・・・ B・・・ C・・・ D・・・	9 10 0 0	4 5 0 0	感染防止対策に取り組みつつ、子ども達の健康の保持増進に努めた。また、子ども達のストレスにも目を向け、運動ができる場の工夫にも努めている。中学校では休み時間や放課後の時間を活用し、生徒の声に耳を傾けるなど、生徒の気持ちに寄り添う活動が行われている。
		2 健康な心身のための、食育を推進します	<ul style="list-style-type: none"> ・食育 	A・・・ B・・・ C・・・ D・・・	2 15 2 0	1 8 0 0	コロナ下で、食育の推進が難しい面もあるが、栄養教諭を中心に食育に関する情報提供を行うほか、栄養士等と連携し、授業中や給食時間中に栄養について放送講話をした学校があった。コロナ下での衛生面に配慮した配膳や食べ方を指導し、子ども達に身に付けさせている。
		3 命を守る、安全教育を推進します	<ul style="list-style-type: none"> ・命の授業 ・安全・防災教育 ・情報モラル教育 ・登下校の安全、パトロール ・PSメール ・防災計画の改善 	A・・・ B・・・ C・・・ D・・・	7 12 0 0	5 4 0 0	命の大切さについて、感染予防も含め道徳や特活をはじめ教育活動全体を通じて取り組んだ。すべての学校で、教職員を対象にスタンドパイプの訪問研修を行い、防災意識を更に高め、防災教育の実施に生かすことができた。PSメールの登録率も高く、安全に関する情報を提供できた。SNS等に係る情報モラル教育についてはますます必要であり、教育研究所と連携を図りたい
		4 安全安心で、子どもが落ち着いて学べる学校の環境づくりを進めます	<ul style="list-style-type: none"> ・教室環境の整備・美化 ・学校施設の維持管理 ・学校安全計画、危機管理マニュアル 	A・・・ B・・・ C・・・ D・・・	7 12 0 0	3 6 0 0	教職員による学校施設の定期的な安全点検を行い、教室環境の整備、施設の維持に努めた。長引くコロナ禍においては、適切な感染防止策について、スクールサポートスタッフ等の協力を得ながら適切に行う必要がある。校舎の老朽化に伴う施設・設備の補習等については引き続き課題となっている。

※各学校の自己評価

A:達成できた、B:おおむね達成できた、C:達成に及ばなかった、D:課題がある

基本目標		施策の方向	具体的な内容例	評価	小	中	指導室 分析	
基本目標 4	多様性を尊重し、 他者とともに生きる 社会性を育てます	1	いじめのない学校生活 に向けた取り組みを進 めます	いじめ対策	A・・・ B・・・ C・・・ D・・・	8 11 0 0	6 3 0 0	いじめの未然防止と早期発見・早期対応をめざした「いじめ防止基本方針」に基づき、児童支援中核教諭・生徒指導担当教諭を中心として、職員の共通理解を図り、関係機関等と連携しながら、学校全体として組織的な対応を行っていた。中学校ではスマートフォン用の匿名報告・相談アプリケーション「STOPit」を一人一台端末にも導入し、いじめの早期発見と早期対応に努めた。今後も研修等を行い、いじめの未然防止・早期発見に努めていきたい。
		2	不登校のない、だれも が通いたくなる学校作 りを進めます	不登校対策	A・・・ B・・・ C・・・ D・・・	6 13 0 0	4 5 0 0	職員会議等で児童生徒の情報交換を行い、不登校の未然防止、早期対応に努めている。また、不登校状態の児童生徒に対しては、家庭と連携を密にするとともに、家庭訪問を行ったり別室登校で居場所づくりを行うなど個別の対応を行っている。さらに、関係機関とも連携し、個々の状況に応じた相談、対応も行っている。しかし、不登校児童生徒の人数が減少しないことから、今後も青少年相談室と連携し、支援の方法を模索していきたい。
		3	社会性を育む道徳教 育を推進します	・異学年交流等による社会性の 育成 ・道徳教育 ・人権教育 ・教員の人権意識の向上	A・・・ B・・・ C・・・ D・・・	4 15 0 0	4 5 0 0	道徳科の授業を中心に子どもたちの道徳教育・人権教育が推進されている。感染拡大防止の観点から、対面しての異学年交流等ができないこともあったようだが、工夫して取り組み、社会性を育成する姿もあったようである。
		4	社会に開かれた学校 教育を推進します	・地域の施設等訪問、ボランティ ア活動 ・学校評価 ・学校評議員会 ・ホームページ、学校便り ・地域人材力の活用	A・・・ B・・・ C・・・ D・・・	5 14 0 0	1 8 0 0	ホームページ等を活用し、学校の情報を発信する工夫が見られた。また、感染対策を行いながら、地域やPTAのボランティアの方に見守りや清掃活動をしていただいた学校もあった。今後も学校運営協議会委員および学校評議員の方のご意見も参考にしながら、開かれた学校教育が推進できるよう支援していきたい。

※各学校の自己評価

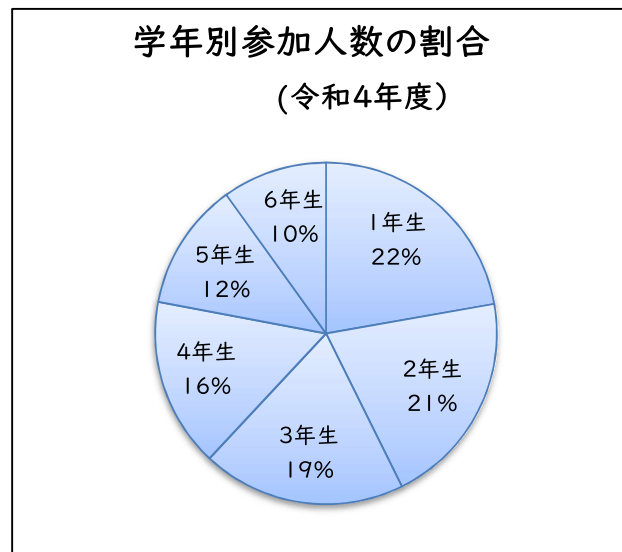
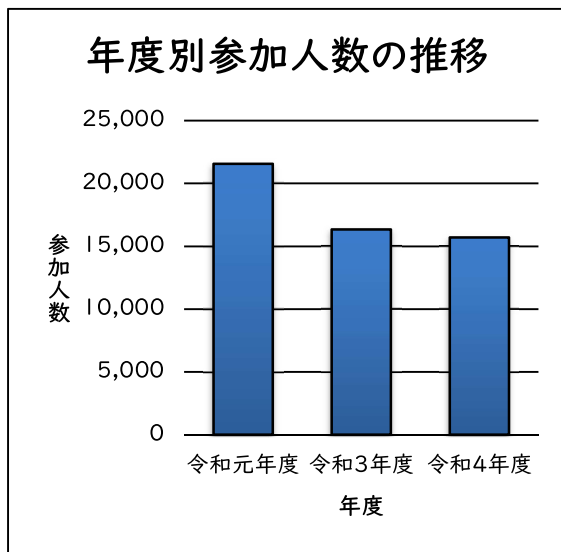
A:達成できた、B:おおむね達成できた、C:達成に及ばなかった、D:課題がある

令和4年9月29日

「令和4年度 夏休み寺子屋やまと」について

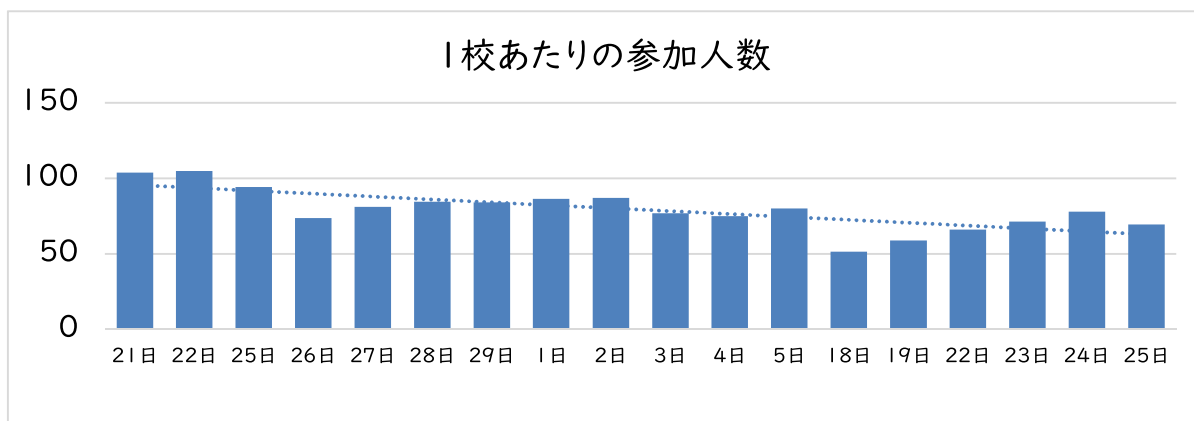
(1) 児童参加人数(のべ人数) ※本年度も新型コロナウイルス対策のため一部人数制限を実施。
令和2年度は学校一斉臨時休業に伴う、夏休みの短縮のため事業を実施せず。

単位:人	1年生	2年生	3年生	4年生	5年生	6年生	合計
令和元年度	4,036	4,015	4,189	3,532	3,184	2,606	21,562
令和3年度	3,630	3,472	2,797	2,531	2,165	1,747	16,342
令和4年度	3,490	3,206	3,028	2,514	1,899	1,558	15,695



(2) 開催日別参加人数(のべ人数)

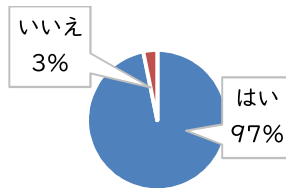
7月	21(木)	22(金)	25(月)	26(火)	27(水)	28(木)	29(金)	8月	1(月)
実施校数	15	18	18	18	13	17	15	実施校数	5
人数(人)	1,555	1,887	1,698	1,327	1,055	1,435	1,261	人数(人)	432
2(火)	3(水)	4(木)	5(金)	18(木)	19(金)	22(月)	23(火)	24(水)	25(木)
3	1	2	1	3	4	15	18	17	7
261	77	150	80	154	235	992	1,285	1,324	487



「令和4年度 夏休み寺子屋やまと」児童からのアンケート

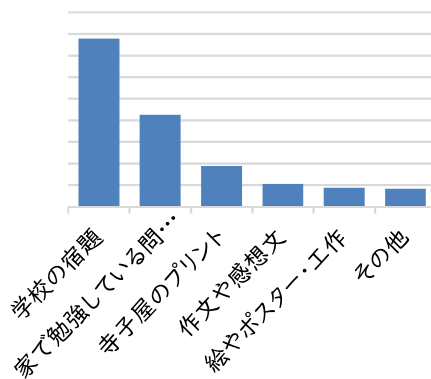
(1) 夏休み寺子屋やまとに来てよかったですか。

はい	1,630
いいえ	54



(2) 夏休み寺子屋やまとでどんな勉強をしましたか。(複数回答)

学校の宿題	1,555
家で勉強している問題集など	851
寺子屋のプリント	377
作文や感想文	211
絵やポスター・工作	173
その他	166

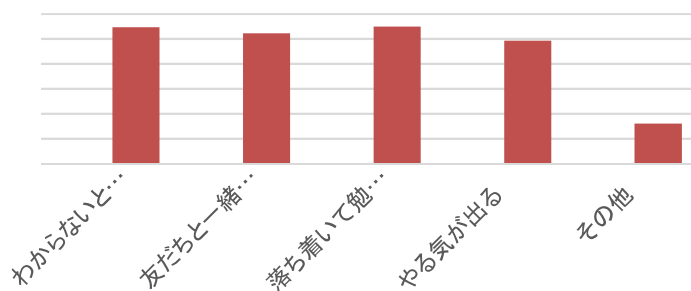


<その他(内容)>

- ・漢字練習
- ・習字
- ・読書
- ・自主学习
- ・英語
- ・寺子屋検定
- ・社会や理科
- ・塾の宿題
- ・クロームブック
- ・習い事の宿題
- ・算数ゲーム
- ・ことわざ 四字熟語
- ・都道府県の学習
- ・自由研究
- ・読解プリント
- ・総合学習
- ・スタディサプリ
- ・日記
- ・調べ学習
- ・家庭科小物づくり

(3) 夏休み寺子屋やまとのいいところはどんなところですか。(複数回答)

わからないところを先生や友だちに教えてもらえる	1,095
友だちと一緒に勉強できる	1,044
落ち着いて勉強できる	1,098
やる気が出る	985
その他	320



<その他(理由)>

- ・先生が心をこめて優しく教えてくれる
- ・漢字検定をしてもらえる
- ・先生といっぱい勉強できて楽しい
- ・一人でもいつもよりいっぱい勉強できる
- ・折り紙を教えてもらった
- ・気付いていなかった間違いを教えてくれる
- ・スマホやゲームの選択肢が断ち切れる
- ・読めない漢字を教えてもらえる
- ・消毒などコロナ対策がしっかりしている
- ・自分のペースでできる
- ・先生が勉強のポイントを教えてくれる
- ・プリントがあって、たくさん勉強できる
- ・教科に関係なく勉強できる
- ・みんなで勉強できる
- ・字が上手に書けるようになった
- ・本をたくさん読むことができる
- ・家より宿題がはかどる
- ・新しい友だちができた
- ・親にガミガミ言われない
- ・学校で勉強できるから落ち着く
- ・スケジュールがあっている
- ・冷房が効いていて涼しい
- ・辞書や辞典がかりられる
- ・静か
- ・丸付けをしてもらえる
- ・図書館などで調べられる
- ・夏休みに友だちと会える
- ・休憩もあって集中できる
- ・宿題が早く終わる
- ・学校より質問しやすい

令和4年度 夏休み中学校寺子屋やまについて 報告

夏休み寺子屋やまど (中学校寺子屋学習支援コーディネーター・学習支援員が対応)

○日数 6～8日(各学校で設定)

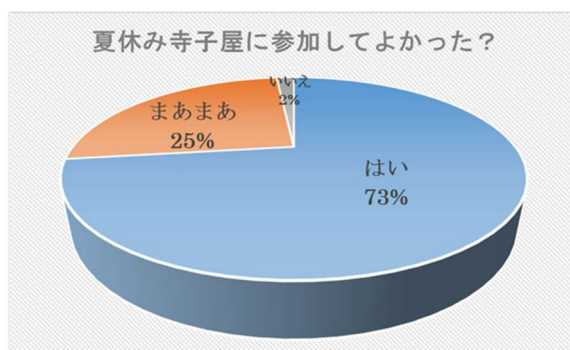
○対象 全学年

○参加人数

	令和元年	令和2年	令和3年	令和4年
実人数		中止	475	516
延べ人数	1473	中止	1768	1740

*新型コロナウイルスの第7波の影響による欠席者が一定数いたことにより、
実人数増加にもかかわらず、延べ人数が微減していると推測される。

○参加した生徒のアンケートより



○参加した生徒の感想(一部)

- ・静かだし、わからない所はすぐ聞ける環境がとてもよい。
- ・先生の教えて頭の中がスッキリしました。来て本当によかった。
- ・先生方がわかりやすく教えてくれたので自分の苦手な部分を知ることができたし参加してよかった。
- ・先生が1人1人に大丈夫か聞いていて、とても質問がしやすかった。
- ・先生もおもしろくて、とても楽しかった。また、冬休みの時にもいこうかなと思う。
- ・静かな空間でとても集中しやすく勉強がはかどった。苦手なスピーチ原稿作りではアドバイスしてもらい、さくさく終わらせることができた。夏休みに寺子屋があって本当に助かっている。
- ・時間があり、ついだらけてしまうことがあったので、寺子屋に行ったおかげでしっかり早起きをし、勉強時間とそうでない時間のメリハリをつけて宿題を進められてよかったと思う。
- ・参加して宿題が終わったのでよかった。
- ・わからなかった問題などをきけたので、「わからない」を「わかる」にできてよかった。
- ・べんきょうのやりがいを感じることができ、集中して行うことができたので寺子屋に行ってよかった。
- ・家で集中できない分、学校の場を借りて勉強できるのはとてもうれしいことだし、すごく便利だと感じている。
- ・友達が勉強している姿が見えることで集中できてよかった。
- ・寺子屋なら集中してできたのもっとたくさん行けば良かった。冬休みも寺子屋にたくさん行きたい。
- ・この夏は復習が大切だから参加してよかった。また参加したいと思った。
- ・家より10倍くらい集中できました。毎日開催してほしいくらいです。
- ・難しいところは教えて頂き、宿題を終わらせることができて、親子共々参加してよかったと思っています(保護者より)。

3年夏の学習会について(中学校学習支援少人数非常勤講師【英・数】が対応)

○日数 6~8日(各学校で設定)

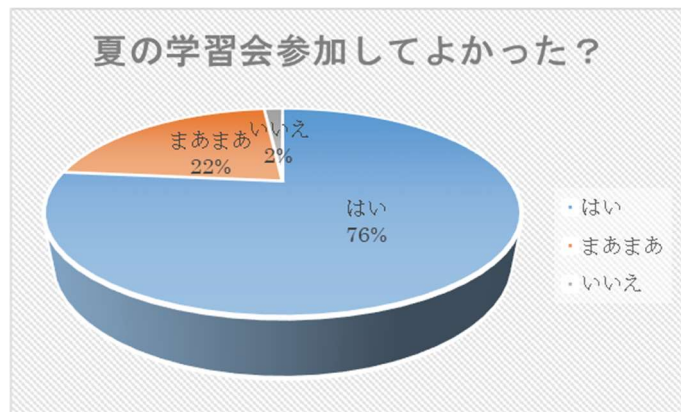
○対象 3年生

○参加人数

	令和元年	令和2年	令和3年	令和4年
実人数		中止	306	496
延べ人数	1912	中止	2391	2304

*新型コロナウイルスの第7波の影響による欠席者が一定数いたことにより、実人数増加にもかかわらず、延べ人数が微減していると推測される。

○参加した生徒のアンケートより



○参加した生徒の感想(一部)

- ・苦手なところは克服できたし、分かりやすかった。
- ・先生方の入試の解き方や教え方がとても分かりやすかった。
- ・今まで習っていないことも学べたし、受験につながる問題なども解いてとてもためになった。
- ・どちらも苦手な教科で、前までできなかったところが少しでもできるようになったので参加してよかった。
- ・数学の分からなかった部分も英語の文法もとても分かりやすくて、何より楽しく覚えられた!
- ・最初は乗り気ではなかったけど、友達と行っているうちに楽しくなって、1,2年の復習もできたので結果的によかったかなと思う。
- ・思ったより自分の力になっていることが分かってよかった。冬の寺子屋にも参加したい。
- ・静かで勉強しやすかった。
- ・数学では忘れてしまったところもあったけれど、思い出すことができたり入試のときに必要なポイントや、出やすい問題などを教えてくれたのでよかった。英語では、入試問題を問別にしてやったので、どの問いがどのような問題で、どんな法則があったりするのかが知ることができたのでよかった。
- ・学校で勉強することで集中できたので、参加してよかったと思う。
- ・先生の教え方が分かりやすかった。先生が作ったプリントをたくさんもらえてよかった。
- ・家だとだらけてしまうので学習会はすごく役に立った。
- ・英語は1年からの基礎的なことを復習できてよかった。長文は難易度が分かれていてやりやすかった。数学は計算を繰り返し練習できて、計算スピードが上がった。図形や関数では予習できた。
- ・最初は行くのが面倒だったが、後半はがんばろって思えるようになったのでよかった。
- ・家より集中できるし、分からないところを先生に教えてもらえるし、友達と一緒にできてうれしいし、すごくよかった。
- ・来年度もこういった取り組みを続けてくれると学生が救われると思うので、教育委員会よろしくお願ひします!